

地域福祉情報バンク通信

2026年 冬号

季刊 (No.69)

発 行：社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

問合せ：ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク

川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター 6階

Tel : 044-739-8720 / E-mail : jyoho@csw-kawasaki.or.jp

2026年冬号の内容は…

- ★ 「専門相談」のご案内、令和8年度「福祉基金助成金」について
- ★ 「境界知能」に関する図書の紹介
- ★ 川崎市子ども発達・相談センター「きっずサポート なかはら」の紹介
- ★ 新着図書 & DVDの紹介



弁護士・精神科医師・臨床心理士による「専門相談」のご案内

川崎市社会福祉協議会では、川崎市民の方（在勤・在学の方も含む）を対象に、弁護士・精神科医師・臨床心理士による相談を行っています。相談は原則1回のみ、来所での実施となり、相談料はかかりません。ご予約は「ふくし相談」までお気軽に問い合わせください。



法律に関する相談

弁護士：金曜日（1回30分間）

法律問題（相続・離婚・借金・不動産・近隣問題など）で、お困りの方の相談をお受けします。
※その後の書類作成・交渉などはできません。

心の病・認知症などに関する相談

精神科医師：木曜日（1回50分間）

気分が落ち込む・不安やイライラすることが多い・眠れない・物忘れがひどくなったなど。ご家族の方の相談もお受けします。

人間関係や心理的な悩みなどの相談

臨床心理士：火曜日（1回50分間）

人間関係の悩み・心理的な悩み・家族の問題・こころとからだの不調・気持ちの整理をしたいなどの相談をお受けします。



ふくし相談 044-739-8719

詳しい日程は
HPをご確認
ください

- 月曜日～金曜日
※祝日・年末年始を除く
- 9:00～16:00
※12:00～13:00を除く



令和8年度「福祉基金助成金」申請団体を募集します

川崎市社会福祉協議会では、互いに助け合い、支え合うことができる地域づくりを目指し、その役割を担う団体を育成・支援することを目的に助成事業を実施します。現在の活動をさらに発展させたい団体や、新たに団体を立ち上げる際のスタートアップとして、ぜひご活用ください。福祉活動に取り組む団体・グループを応援します！

【対象事業】

- 川崎市の地域住民のために行う事業であること
- 実施事業が地域福祉の裾野を広げるものであること

・スタートアップ … 最大 30万円

・活動をさらに発展 … 最大 50万円

(複数年度で最大 100万円)

詳しくは「[川崎市社会福祉協議会 福祉基金助成事業 令和8年度募集要項](#)」をご確認ください。

募集要項は川崎市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会の窓口等でも配布しています。

申込締切：**令和8年1月31日（土）**（当日消印有効）

※窓口での受付は1月30日（金）17:00まで

- 問い合わせ先 川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター

Tel : 044-739-8718 / E-mail : v-center@csw-kawasaki.or.jp



川崎市社協
ホームページ

特集



「境界知能」に関する図書の紹介

～地域福祉情報バンクで貸出しています～



境界知能とは、知的障害と定型発達のあいだに位置するIQ70～84程度の人たちを指し、日本ではおよそ7人に1人が該当するといわれています。学業や仕事、人間関係でつまずきやすい人が多い一方で、外からは困りごとが見えにくく「努力不足」と誤解されてしまうこともあります。また、情報の整理や複雑な手続きには大きな負担がかかるため、日常生活の中で生きづらさを抱えやすい特徴があります。

周囲の人が境界知能の特性を正しく理解し、適切に関わることが、生きづらさの軽減につながります。境界知能の方の現状や支援のポイントを知るきっかけとして、ぜひご覧ください。

教師、支援者、親のための

境界知能の人の特性と支援がわかる本

障害者就労支援を専門とする著者が、気づかれにくい境界知能の特性を丁寧に解説します。

支援があれば困難を抱える人も自立して社会参加できることを伝え、早期支援の重要性や身につけたいスキル、具体的な支援方法などを紹介します。

(梅永雄二:著/中央法規出版/2024年発行)



イラスト図解

境界知能&グレーゾーンの子どもの育て方

境界知能や発達障害グレーゾーンの子どもたちへの対応に、先生や保護者の方が悩んだケースを取り上げ、具体的な支援方法を解説します。

子どもたちの特性や気持ちをどう理解し、どのように寄り添いながらサポートしていくべきか…。ヒントが詰まった一冊です。

(宮口幸治:著/扶桑社/2024年発行)



マンガでわかる！

境界知能とグレーゾーンの子どもたち

境界知能や発達のグレーゾーンの子どもたちのつまずきや困りごとを、教師の視点からわかりやすく描いたシリーズです。

小学校教師を主人公に、子どもたちへの正しい理解と効果的な支援策を、マンガと解説を通して丁寧に紹介します。

1.境界知能とグレーゾーンの子どもたち（2020年発行）

2.困っている子を見逃すな（2021年発行）

3.生きづらい子を諦めない（2022年発行）

4.傷ついた子を救うために（2022年発行）

5.普通にできない子を医療で助ける（2023年発行）

(宮口幸治:著、佐々木昭后:作画/扶桑社)

境界知能の子どもたち

「IQ70以上85未満」の生きづらさ

IQが平均的でもなく知的障害でもない、その狭間に位置する子どもたちの実態を解説します。

そもそも検査で測れる「知能」とは何か、どのように支援をしていけば良いのか、子どもたちの可能性を伸ばすための具体策を提案します。

(宮口幸治:著/SBクリエイティブ/2023年発行)



境界知能 教室からも福祉からも見落とされる 知的ボーダーの人たち

日本の人口の約14%、およそ1,700万人が該当するといわれる境界知能とは何か？

「障害」の枠には入らないため支援が届きにくく、医療でも教育でも見過ごされてきた現状について、実際の事例をもとにわかりやすく解説します。

(古荘純一:著/合同出版/2024年発行)





川崎市子ども発達・相談センター

きっずサポート なかはら



川崎市子ども発達・相談センター「きっずサポート」は、お子さんの発達について気になることがあるときに、気軽に相談できる公的な相談機関です。川崎市内の各区内に1か所ずつ設置されており、専門の職員が発達に関する相談を受けています。

「きっずサポートなかはら」では、昨年10月開設から300件を超える相談に対応しています。必要に応じて関係機関と連携しながら、お子さんの成長を温かく見守り、保護者の方とともに安心して歩んでいけるよう支援しています。

今回は「きっずサポートなかはら」を訪問し、職員の小林さんと佐川さんにお話を伺いました。



佐川さん
(保育士)

小林さん
(保健師)

1. どのような相談ができますか？

「言葉がなかなか出ない」「集団生活が苦手」「落ちつきがない」「かんしゃくを起こしやすい」など、発達に関するご相談をお受けしています。



区役所の1歳半健診や3歳児健診、保育園・幼稚園などからの紹介で、ご利用いただく方も多くいらっしゃいます。

3. どのような人が相談にのってくれますか？

相談支援には、社会福祉職・心理職・保健師・学校連携推進員が対応しています。

また、併設の児童発達支援事業所では、保育士・児童指導員・地域連携コーディネーターなどが関わり、お子さんとご家庭をサポートしています。

お子さんの困りごとを解消するために、周囲のサポート体制を整えながら、お子さんの自己肯定感を大切に育むことを目指しています。

2. 相談したい場合はどうすればよいですか？

まずはお電話でご連絡ください。丁寧にお話を伺ったうえで、面談の予約をお取りします。

初回面談は、お子さんと一緒にお越しいただき、普段の様子を伺いながら、適応行動検査なども実施します。



後日、お子さんに必要な支援内容を整理し、わかりやすくまとめた「支援方針」をお渡ししています。

5. 相談を受けた方には、どのような変化がありますか？

お子さんの行動がすぐに変わるわけではありませんが、保護者の方の不安が和らぐことで、お子さんにも良い変化が見られることがあります。

また、お子さん自身も、さまざまな場面での対応の仕方を学ぶことで、少しずつ自信をつけ、成長していく姿が見られます。



4. 児童発達支援事業所での活動とは？

週1回、1回1時間40分のクラスを、約3か月にわたり実施しています。

活動の中では、幼稚園や保育園などで親しみのある内容を取り入れながら、お子さんの課題や成長の様子を保護者の方と一緒に確認し、支援を進めています。



6. 皆さんにお伝えしたいこと

「きっずサポート」では、お子さんが自信をもって毎日を過ごし、自己肯定感を育めるよう、親子の困りごとの相談をお受けしています。

保護者の方と一緒に、お子さんに合った支援の方法や今後の関わり方を考えていくことを大切にしています。

相談機関であるため、診察や診断はできませんが、困ったことや気になることがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。

ご相談はお住まいの区の「きっずサポート」へ！



川崎市子ども発達・相談センター

問合せ：各区の子ども発達・相談センター

ご連絡先は川崎市ホームページをご覧ください ⇒



新着図書&DVDの紹介



【図書】（書名／著者・編者名／出版社）

- マンガで解決 老人ホームは親不孝？／上大岡トメ／主婦の友社
- イラストでわかる 高齢者のくらし図鑑／kei、長島佳歩、／Gakken
- 介護未満の父に起きたこと／ジェーン・スー／新潮社
- オレンジ・ランプ（文庫）／山国秀幸／幻冬舎
- 精神疾患のある親をもつ子どもの支援／田野中恭子／中央法規出版
- 障がい者はノウフクでもっと輝ける！ 農福連携というしあわせな選択／高草雄士／弘文堂
- はるの空と風 聞こえない夫婦と聞こえる子どもの手と手の日常／春日晴樹／ジーアス教育新社
- 妹なんか生まれてこなければよかったのに きょうだい児が自分を取り戻す物語／うみこ／飛鳥新社
- ライオンを飼いたい 障害者支援の手前にあるもの／大久保薰、大友愛美／中央法規出版
- 大切な家族を守る「おうち防災」／奥村奈津美／辰巳出版
- だれでも防災 決定版 避難が難しい人のための一冊／鍵屋一／中央法規出版
- 明石の福祉を変えた社協マンの実践と闘病の記録／山下香／瀬谷出版
- 多機関協働がうごき出す 全方位型アセスメントを使った困難事例の解きほぐし方／伊藤健次、土屋幸己、竹端寛／現代書館
- 映画の中のソーシャルワーク トレンドの理解とリアリティへの接近／口村淳／ミネルヴァ書房
- 対話の実践力 ケアを極める聞き方・話し方／小瀬古伸幸／中央法規出版
- 会話が止まる人と会話が続く人 対人援助職のための言葉かけガイド／竹田伸也／中央法規出版
- セーフティネット コミュニティソーシャルワーカーの現場 5 地域共生の実現～子供の貧困へのアプローチ 心の扉～／豊中市社会福祉協議会／ブリコラージュ

- セーフティネット コミュニティソーシャルワーカーの現場 6 豊中あぐり誕生～定年後すべての人に居場所と役割を／豊中市社会福祉協議会／ブリコラージュ
- 強迫症を治す 不安とこだわりからの解放／亀井士郎、松永寿人／幻冬舎
- 摂食障害の不安に向き合う 対人関係療法によるアプローチ／水島広子／創元社
- 自分も相手も尊重し、心理的安全性を高める アサーティブ・コミュニケーション／森田汐生／ナツメ社
- 自分にやさしくする生き方／伊藤絵美／筑摩書房
- プロカウンセラーの人を見る技術／福島哲夫／創元社
- プロカウンセラーの賢く怒る技術／杉原保史／創元社
- プロカウンセラーの面接の技術／杉原保史／創元社
- 「辞めない」「諦めない」 福祉組織へ 笑顔と成長を約束する人材育成戦略／笹谷寛道／セルバ出版
- 地球と書いて〈ほし〉って読むな／上坂あゆ美／文藝春秋
- 棘の家（文庫）／中山七里／KADOKAWA
- 掴えば手には（文庫）／瀬尾まいこ／講談社

【コミック】（書名／著者／出版社）

- Shrink～精神科医ヨワイ～ 16巻／七海仁、月子／集英社
- 南海トラフ巨大地震 4巻／biki、よしづきくみち／講談社
- 19番目のカルテ 徳重晃の問診 12巻／富士屋カツヒト、川下剛史／コアミックス
- リエゾン こどものこころ診療所 21巻／ヨンチャン、竹村優作／講談社



【DVD】（タイトル／制作／仕様）

- オレンジ・ランプ／©2022「オレンジ・ランプ製作委員会」／100分
- 子どものアディクション～ネット・ゲーム依存、オーバードーズ＜薬物依存＞、性行動と性依存、共依存親子～／アローウィン／83分

前号のアンケートでは、多くの皆さんにご回答いただき、ありがとうございました。興味のあるテーマや紙面の読みやすさなど、寄せられたご意見は今後の誌面づくりに活かしてまいります。

新着図書やDVDの紹介を楽しみにしてくださっている方が多かったため、今後も皆さまに興味を持っていただける作品をたくさんご紹介していきたいと思います。

福祉に関連し、比較的新しい作品であればリクエストも参考にさせていただきます。

次号は4月1日発行予定です。お楽しみに！（ま）

蔵書検索は『ふくみみ』で！
<https://k-fukumimi.com/>

